

山の子

塩沢町立

栢窪小学校

&

海の子

間瀬小学校

夏季交歓会

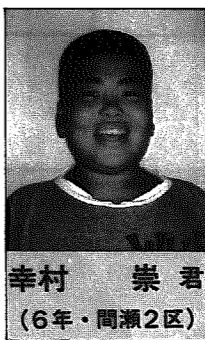
交流と連帯をめざして

今年もまた、山の子（塩沢町立栢窪小学校の四、六年生十六人）が来村し、先月一日から三日までの三日間、海の子（間瀬小学校の四、六年生二十四人）と「夏季交歓会」を行いました。

ことしの交歓会。時折雨の降るあいにくの天候となったものの、子供たちは水泳やすいか割り、キャ

ンプファイアー、スポーツ大会などの予定していた行事を元気に行いました。

そして、楽しい時はあつと言う間に過ぎ、いよいよ山の子は栢窪へ帰る時間となりました。子供たちは「冬には栢窪でね」、「みんな元気でね」など声をかけあい、別れを惜しんでいました。



幸村 崇君
(6年・間瀬2区)

楽しかった スポーツ大会

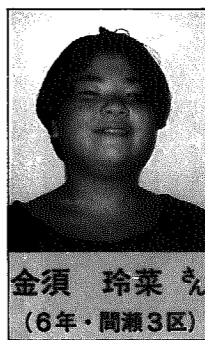
二日目の朝、スポーツ大会を行いました。種目は、「ダブルドッジ」と「野球」の二つです。これらは、いつも間瀬小の子どもたちが行っている遊びで、今回は栢窪小のみなさんにも楽しんでもらうと計画しました。

間瀬小・栢窪小合わせて三十八人を、四つのチームに分けて始めました。

「ダブルドッジ」は、ボールを一度に二つ用いるドッジボールで

す。ボールが一つの時とちがって一つのボールに気をとられていると、いきなり後ろからもう一つのボールに当てられてしまいます。三回行いましたが、ぼくが当てられなかったのはそのうちの一回だけでした。楽しいんだけど、とてもきつくて汗がたくさんでました。

「野球」は、やわらかいボールで行いました。女子はラケットで打ちました。これは、二対二の引き分けで終わりました。



金須 玲菜
(6年・間瀬3区)

司会をたくさん した交歓会

わたしは児童会の会長なので、交歓会ではいくつもの司会や話をしなくてはなりません。

まず、一日目の「歓迎会」でのあいさつです。前から考えていたのですが、覚えるのに苦労しました。次に、班編成と自己紹介についての説明です。話し合いの進め方を忘れてしまったので、先生に聞くなどしてどうにかできました。

そして、なんといっても一番大変だったのが、「夕べのついで」



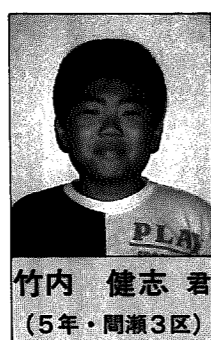
です。これはキャンプファイアーなのですが、この司会・進行は、大人でも難しいと先生が言っていました。特にわたしが苦労したのは、マイクの使い方でした。マイクをスピーカーの近くに持って行って「ピーノ」というすごい音を出してしまったり、スイッチを切るのを忘れてものすごい声が入ってしまったりしました。

でも、自分としては最後までよくできたと思いました。

ちょっと目が回って、場所が分からなくなっていました。

困っていると、前の方から幸洋君が「健志、右だノ」と言って教えてくれたので、言うとおりに歩いていきました。

「そこだノ」という声があったので、ぼくはおもいきり棒をふりおろしました。スイカに当たるには当たったのですが、なんと、となりの班のスイカでした。



竹内 健志
(5年・間瀬3区)

まちがってた スイカ割り

夏季交歓会の日目、少し海に入ったあと、ぼくが楽しみにしていたスイカ割りが始まりました。

ぼくの班は、みんな上手にスイカを割っていききました。特に克也君は、見事まっぶたつに割ることができました。

いよいよ自分の番が来ました。「ようし、ぜつたいに割ってやるぞ」と言って、はりきって目かくしをしました。

棒を持って、その場所で二回クルクル回りました。そうしたら、



阿部 つかさ
(5年・間瀬3区)

友達がたくさん できた交歓会

今年の交歓会でよかったことは、

友達がたくさんできたということ。去年は初めてだったので、あまり栢窪小の人は話ができませんでした。でも、今年是一日目から栢窪小の女子と話をすることができました。

わたしが一番最初に話したのは、去年もいっしょの班だったまい子ちゃんでした。それに、同じ学年のさおりちゃんは、わたしがニコッとしたら向こうもニコツとしてくれたので、「わたしのことを覚えてくれたんだ、うれしいなあ」と思いました。

カレー作りの時も、いろいろな人といっぱい話しました。

今年も栢窪小の女子のみんなとなかよくなれたので、楽しさも去年の倍になりました。なかよくなった人たちと、また来年もいっしょに海で泳ぎたいです。



▲みんなでカレーづくり

▼砂浜でのスイカ割り大会

